

科目名	流通システム論	科目分類	■専門科目群第1グループ □総合科目群第2グループ
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	AN INTRODUCTION TO MODERN DISTRIBUTION MANAGEMENT	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	あべ ときお	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	阿部 時男	修得単位	2単位
授業のテーマ	流通システムにおける情報システムの役割		
授業概要	現代の「流通システム」を理解する上で欠かせない経営環境の変化とそこから生じる課題、そして解決のための経営情報戦略について物流を基軸とした実例をもとづき学習する。また、現場の映像を記録したビデオ教材を用いて実践的な学習をする。		
到達目標	流通システムの基本とグローバル企業環境の中でどうすれば流通の最適化を図ることができるかを理解する		
授業時間外の学習	普段、新聞やテレビ等で報道される日本のもの作りや流通をテーマとする記事や番組に慣れ親しむこと。		
履修条件	経営学関連科目、情報処理関連科目を履修しておくこと		
授業計画			
第1回 流通システムとは（流通の機能など）			
第2回 流通システムとは（流通と高度情報化）			
第3回 流通システムとは（流通構造の変革）			
第4回 経営環境の変化（需要変動とタイムラグ、計画と実績の差異、タイムラグとブルウィップ効果）課題1配布			
第5回 経営環境の変化（流通経済構造のパラダイムシフト、大量システムの問題点、）			
第6回 経営環境の変化（組織ごとの部分最適化の問題点、ヒューマンウエアの問題点、旧財務システムの問題点）課題2配布			
第7回 物流管理（生産管理からSCM,QR/ECRへの発展）			
第8回 生産管理の基本（在庫管理）課題3配布			
第9回 SCMの基本戦略（ロジスティクス、サプライチェーンマネジメント、コンカレント計画）			
第10回 卸売業・小売業の販売戦略（マスカスタム化、VMI、）課題4配布			
第11回 ロジスティクス：VMI（ベンダー・マネジメント・インベントリー）とは			
第12回 ロジスティクス：コンカレント計画（A = B）とは（2）課題5配布			
第13回 ロジスティクスを支えるITソリューション 例：花王化粧品販売 EDI/EC			
第14回 QR（クイック・レスポンス）とECR（コンビニエンスストアの例）への発展			
第15回 QRとECR（ウォルマートの例）			
第16回 期末試験			
テキスト	OHプリント教材		
参考文献・資料	宮下淳，他著『流通ビジネスモデル』中央経済社、市原武政 他『1からの流通論』碩学舎、田中一成著『図解・生産管理』（基本からSCM,ERPまで）、実教出版、		
成績評価の方法	授業態度、課題レポート5題、期末試験。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		

オフィスアワー	毎週水曜日午前中
学生へのメッセージ	実例についてのビデオデータベース教材を取り入れ解りやすく講義を進めてゆく。授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。